

平成 30 年度 腎臓総括試験 平成 30 年 7 月 6 日

問 1.

成人の透析導入の原疾患について正しいものの組み合わせを選択しなさい。

- (1) 遺伝性疾患である多発性嚢胞腎は常染色体劣性遺伝である。
- (2) 糖尿病性腎症では導入初期には網膜症は少ない。
- (3) 透析導入原疾患では糖尿病性腎症での導入比率が慢性糸球体腎炎の導入比率より多い。
- (4) 腎硬化症の導入年齢は他の疾患に比して高齢が多い。
- (5) 慢性糸球体腎炎の導入患者の腎臓の容積は減少している。

- a. (1, 2, 3) b. (2, 3, 4) c. (3, 4, 5) d. (1, 2, 5) e. (2, 3, 5)

問 2.

急性腎不全に対する治療上、特に重要なものはどれか、1 つ選べ。

- a. 高 K 血症の治療
- b. 高尿酸血症の治療
- c. 感染・消化管出血の予防
- d. 代謝性アルカローシスの治療
- e. 透析中における血圧低下の予防

問 3.

正しいのはどれか。

- (1) 尿沈渣に顆粒円柱を認めるときは腎炎と診断できる。
- (2) 健康成人でも生理学的蛋白尿として 150 mg/日を認めることがある。
- (3) Tamm-Horsfall 蛋白は Henle 係蹄下降脚から分泌される蛋白である。
- (4) 尿試験紙法で潜血 1+ では、尿沈渣所見で赤血球 10~20 個/ HPF を認める。

- a. (1, 2) b. (2, 3) c. (3, 4) d. (1, 3) e. (1, 4) f. (2, 4)

問 4.

正しいのはどれか。

- a. CKD（慢性腎臓病）の定義は、腎障害の存在が 6 ヶ月以上持続することである。
- b. 糸球体濾過率（GFR）が 30 ml/分以下に低下した状態を慢性腎臓病分類で腎不全という。
- c. 糖尿病性腎症は早期より腎機能で濾過率（FF）は上昇する。
- d. 腎性貧血ではエリスロポエチンは高値である。

問 5.

糸球体疾患で正しいのはどれか、2 つ選べ。

- a. IgA 腎症の予後は良好である。
- b. 急性進行性糸球体腎炎の組織学的特徴は半月体形成である。
- c. 慢性増殖性糸球体腎炎で血清補体が低下することがある。
- d. 本邦の透析導入原疾患の第一位は慢性糸球体腎炎である。
- e. 生体腎移植は減少している。

問 6.

全身性疾患の腎合併症で正しいのはどれか、2 つ選べ。

- a. 糖尿病性腎症の初発症状は血尿である。
- b. 関節リウマチは腎アミロイドーシスの原因となる。
- c. ワイヤーループ病変は全身性エリテマトーデスで認められる。
- d. 間質性腎炎では高度な尿蛋白が出現する。
- e. 若年女性の腎血管性高血圧の原因は大動脈炎症候群が多い。

正解 : b, c (※マジで書いてあって草生えた)

問 7.

ネフローゼ症候群について正しいものはどれか、2 つ選べ。

- a. 蛋白尿 3.5 g/day 以上が持続する。
- b. 浮腫の機序は毛細血管透過性亢進による。
- c. 微小変化型ネフローゼ症候群は高齢者に多い。
- d. 脂質異常症は診断のための必須項目である。
- e. 腎硬化症はネフローゼ症候群の原疾患とならない。

問 8.

謝っているものはどれか、一つ選べ。

- a. 尿蛋白量が多いほど末期腎不全に至る可能性が高い。
- b. 溶連菌感染後急性糸球体腎炎は、肉眼的血尿の原因となりうる。
- c. 尿沈渣で赤血球円柱の出現は、血尿が糸球体由来であることを示唆する。
- d. アスコルビン酸摂取で尿潜血反応は偽陽性化する。
- e. 小児に対して尿検査は疾患スクリーニングのため行われている。

問 9.

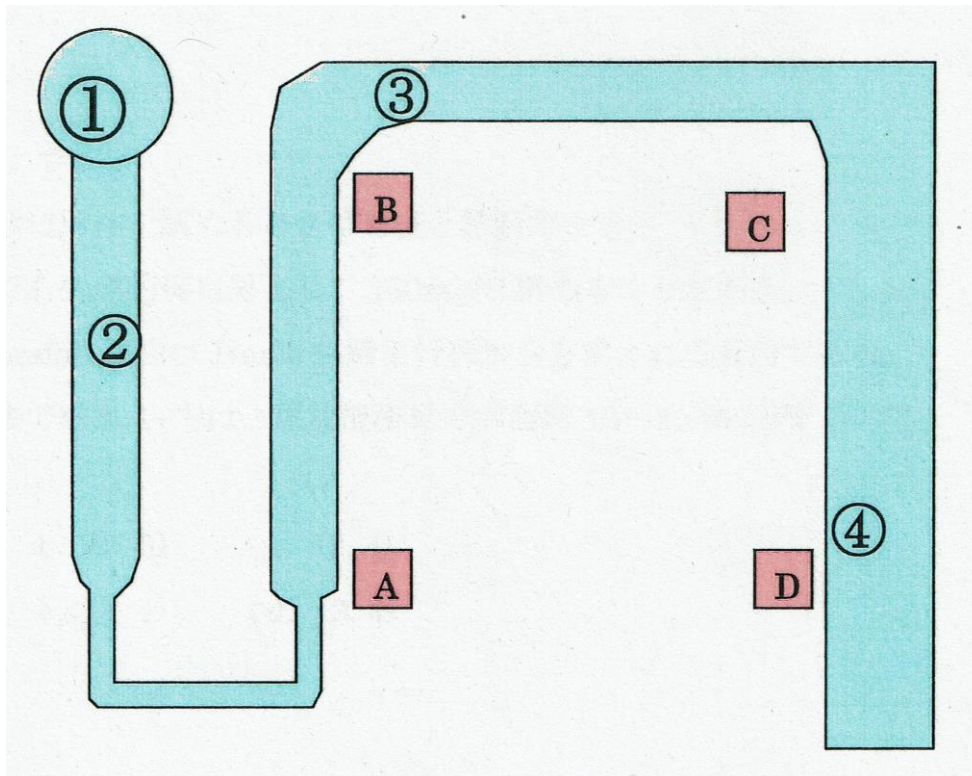
腎代替療法について正しいものはどれか。a～e の中から一つ選べ。

- a. 血液濾過は血液透析に比べ小分子の除去に優れる。
- b. 透析患者の死亡原因で最も多いものは感染症である。
- c. 透析液は血液に比して重炭酸濃度が高く設定されている。
- d. 腹膜透析は血液透析に比べ透析効率に優れる。
- e. 腹膜透析は血液透析に比べ循環系の負担が大きい。

問 10.

下記図は、腎臓の構造の一部を模式的に示したものであるが①から④までの名称をア～オの中からそれぞれ一つ選べ。

ア：ヘンレループ イ：糸球体 ウ：近位尿細管 エ：遠位尿細管 オ：集合管



上記図のA～D付近のチャンネル等に関係の深いものを下記（あ～え）より選択しなさい。

あ：アルドステロン い：サイアザイド系利尿薬 う：ループ利尿薬 え：抗利尿ホルモン

* 本試雑感

過去問に目を通しておけば落ちることはない。多少の語尾変化、選択肢の順番入れ替え等はあるけど、1年分だけでも全然対応可能。腎臓よりかは泌尿器の方に力を入れた方がよさげ。

問6に関しては本当に答えが書いてありました。試験中にみんなそのことに気づいていましたが、誰も指摘せず、そのままやり過ごしました（やったね）。テストはチームワークです。

試験自体はレジュメに載っていることが基本。勉強という意味では「病気がみえる」をちゃんと読みこんだ方がいいかと思います。

* 結果発表 7月9日

* 再試対象者 2名（追試験としてレポート課題（下記）あり。提出で合格。）

* 出席：あり（○付けるだけ）

* チュートリ：レポートあり

* 普段の勉強：レジュメと『病みえ』両方かな？試験自体は過去問だけでなんとかなる。

腎臓内科レポート課題（追試験）：手書きのみ可

次の疾患の病理学的（光顕、電顕、免疫学的）特徴をそれぞれまとめてください。形式は自由です。

- ① 巣状糸球体硬化症
- ② 膜性腎症
- ③ 糖尿病性腎症
- ④ IgA 腎症

提出期限：9月14日（金）

提出場所：医学部学務室